

1 現基本構想・基本計画の進捗状況など

基本構想：「子育て安心」ビジョン～概ね10年後のあるべき姿～

板橋の宝である子どもたちを地域全体で育て、すべての子育て家庭を支えるため、地域団体や事業者、企業、大学など恵まれた地域資源が連携し、子育てしやすい環境が整う中で、地域に見守られながら安心して子どもを産み育てることができ、親子がともに成長しています。

男女を問わず、仕事と家庭の両立などライフスタイルに応じて子どもを育てることができ、ゆとりをもって生活を楽しむことができます。

子どもたちが安心して安全に過ごすことができる居場所が整っており、すくすくと未来を担う子どもたちが成長しています。

基本計画2025：実施施策（6施策）※施策指標は資料4-2参照

【子どもを取り巻く社会環境の変化への対応】

- 1 子育て施策の総合的な推進
3 育児と仕事の両立支援

【すべての子どもが持つ権利の保障に向けた取組】

- 5 子育てセーフティネットの充実

【誰もが安心して子どもを産み育てることが出来る環境づくり】

- 2 子どもの成長と子育ての支援
4 地域ぐるみの子育て支援の推進
6 子どもと母親の健康づくり

2 国・都などの動向

1 子どもを取り巻く社会環境の変化への対応

- 【国】(1)「こども基本法」を施行(R5年4月)【図表1】
(2)「こども家庭庁」を新設(R5年4月)
【都】(1)「東京都こども基本条例」を施行(R3年4月)
(2)「子ども未来アクション2024」(R6年2月)を策定

2 すべての子どもが持つ権利の保障に向けた取組

- 【国】(1)「児童福祉法」を改正(R4年6月)【図表2】
【都】(1)「東京都こども権利条例」を施行(R3年4月)

3 誰もが安心して子どもを産み育てることが出来る環境づくり

- 【国】(1)「こども未来戦略」(R5年12月)
【都】(1)「子育て世帯の経済的負担軽減に向けた取組」
(2)「とうきょうママパパ応援事業」の実施
(3)「ファミリーアテンダント」
(4)「子供・子育てメンター“ギュッとチャット”」

3 政策分野における課題・区の様況

1 子どもを取り巻く社会環境の変化への対応

- (1)若い世代の定住化
(2)幼稚園・保育所における欠員、利用者サービス向上の視点に立った新たな国制度の導入

2 すべての子どもが持つ権利の保障に向けた取組

- (1)子どもの権利擁護にかかる取組の充実
(2)社会的養育の推進
(3)子どもの意見表明・社会参画の推進

3 誰もが安心して子どもを産み育てることが出来る環境づくり

- (1)子ども包括的支援体制の強化
(2)児童福祉施設の老朽化・リニューアルを契機としたサービス・機能の向上

4 論点

政策分野における「あるべき姿」と「施策のあり方(方向性)」の事務局案

あるべき姿

“ひと(個人)”の視点
いたばしで子どもを産み、育て、育ちたいと誇りに思うまち

“まち(地域)”の視点
誰一人取り残さず、あたたかい人と地域全体で子どもをはぐくむまち

“みらい(環境・仕組み)”の視点
未来を担う子どもが豊かな環境の中で子どもらしく健やかに成長するまち

施策のあり方(方向性)

子育て世代に寄り添い安心して産み育てられる環境の整備

ライフスタイルに応じた産前から切れ目のない支援の拡充

すべての子どもが安心・安全に成長できる体制の強化

地域の中で親子がともに楽しめる取組や居場所の充実

子どもの権利を守り意見を尊重する仕組みづくり